



国指定重要文化財



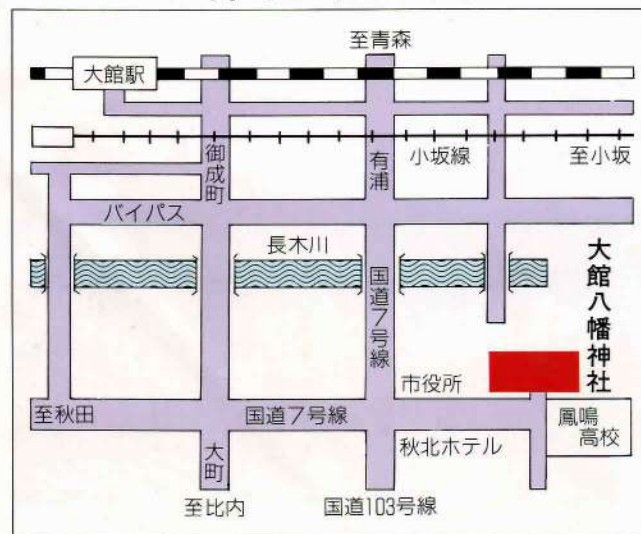
大館八幡神社

〒017 秋田県大館市字八幡1番地
電話 0186(42)1328



八幡神社全景

神社案内図



八幡神社要略

鎮座地 秋田県大館市字八幡一番地

大館駅より東南約四キロ、遠く奥羽連山、長木川の清流を眼下に望む市内唯一の老杉の茂る高台に位置している。

御祭神

誉田別命（応神天皇）
おきながたらしひめのみこと

息長足姫命（神功皇后）

境内地 一、五〇〇坪（四、九五〇平方メートル）

氏子 二、〇〇〇世帯

崇敬者 一、〇〇〇人



文化財

（国指定重要文化財、附指定棟札十三枚）

名称、構造、八幡神社二棟

正八幡宮本殿一棟 一間社流造

若宮八幡宮本殿一棟 一間社流造

建築年代 貞享四年（一六八七年）

由緒

※大館城代佐竹家が、常陸国小場城主当時より宗家の崇敬している常陸太田八幡宮の神霊を勧請し、城中の守護神として祀ってきたものである。

宗家佐竹義宣が水戸より、久保田へ転封の際、大館初代城代佐竹義成（佐竹西家十代）は、常陸小場より随伴して慶長十五年（一六一〇）大館城に入った。

入城と同時に常陸太田八幡宮の神霊を祀り、大館城の守護神とした。その後四代佐竹義武が貞享四年（一六八七）大館城及び大館の鎮守総社として、現在地に八幡二社を建立し城中の神霊を遷座した。

この本殿が現存する正八幡宮、若宮八幡宮の二社で、戊辰の戦火からも免れ保存されている。正八幡宮は、京都の岩清水八幡宮（常陸太田八幡宮の祖神）若宮八幡は鎌倉の鶴岡八幡宮の神霊を勧請したもので、八幡二社と言え、佐竹家が常陸時代以来の祀り方である。

創建以来大館の鎮守総社として崇められ氏子崇敬者も多く、厄除け家内安全戌亥年生れの守護神、安産の神、文武の神として崇敬を集めている。

建築の大体

桃山式の遺風をもった華美にはしらぬ彩色とともに洗練された「流造」の建物で、二棟が軒を揃えて並ぶ配置と装飾に特徴がある。建築的装飾は組物、軒、妻飾りに集中し、彫りは薄肉である。建築用材は杉を用い、共に柿葺流れ造り、方一間向拝付の本殿である。彫刻等の細部や各所に施された極彩色などにみるべきものがあり、形態も配色もよく気品が全体に漂って小規模ではあるが本格的な建築で、十七世紀に遡る数少ない神社建築であり、東北地方の近世社寺建築を代表する遺構として価値が高い。

向拝付本殿、身舎は四隅に丸柱、三方に高欄付の縁を回し、六階の階段棧唐戸をつける外側は黒塗り、内側には金箔が施されている。

貫の中央は七曜文（佐竹の家紋）この左右に牡丹唐草文を彫り、木鼻は唐様で、正八幡は牡丹、若宮八幡は若葉を彫る。





組物

組物、斗拱、貫、長押ともに彩色が美しい。正八幡の長押には金箔の痕も残り、当初の華麗さが想起される。



海老虹梁

正面に身舎と向拝柱をS字形に湾曲した海老虹梁で繋いでいる。

臺股

臺股内彫刻、左右に正八幡は桐に鳳凰、桐に孔雀。若宮八幡は柏に木菟、葡萄に栗鼠。身舎正面臺股内彫刻、正八幡は松と山鳩、若宮八幡は牡丹、臺股の形は正八幡は板臺股、若宮八幡は目付板臺股。



虹梁装飾

正八幡は渦と若葉、若宮八幡は浮彫り彫刻で蓮華と唐草。

妻飾り

虹梁臺股で、臺股上に絵様肘木を置く。妻の臺股はその中央を円形にあげ、その中に彫刻が入る特徴ある形式。

車い正面の主人に対しては、妻の臺股の妻飾りには、



向拝（正面）

面取角柱の上に実肘木をのせ虹梁形頭貫を渡し、中備を臺股とし側面は浮彫り彫刻で華やかに飾る。身舎との間は海老虹梁で繋ぐ。



主な行事

新年祈願祭

年の始めに一年間の開運、諸願成就を祈願する。

節分祭

袴姿の総代、八幡会員、年男による豆まき。

神社より各町内を、巡行して厄除け追儺の祈願をする。

例祭

宵宮祭八月四日
例大祭八月五日

新嘗祭

十一月二十三日
新穀を神前に献じて感謝する祭り。

戌亥祭

毎月初めの戌亥の日。
古くから戌亥八幡と称され、戌年、亥年生まれ

の一代の守護神として崇敬をあつめている。

毎月初めの戌亥の日に、無事息災延命長寿の祈願をする。



懸魚

屋根の側面に三個づつ下がつており猪目懸魚で佐竹五本骨扇紋がついている。
細部には両本殿で部材の外形や彫刻の形態、文模の色採、形状等それぞれ違いをもたせている。



安産祈願

祭神・息長足姫命は、古来安産の神として崇められている。特に、戌の日は安産を大神の力添えて母子共々健康で迎える祈禱を行なう。

学業成就祈願祭

一月二十五日

祭神・菅田別命は、文化、学問の神としても崇められており、勉学、文芸等に志す方の心身の健康と、学業成就を祈願する。

武芸競技必勝祈願

出陣の際、八幡神社の神札が授与され、彈丸除けのお守とされた故事により、勝利の神と崇められている。

文様

身舎内長押の文様は正八幡は紗綾文、若宮八幡は亀甲文、疵藁股斗は正八幡は植物、若宮八幡は菱文、亀甲文。

